

大会出場チームに対する申し合わせ事項（県内大会）

I 出場チームについての申し合わせ事項

1 試合参加の役務について

- (1) 原則として会場校が当番校となる。その他の会場については、競技委員会で決定し、通知する。
- (2) 第1試合のラインジャッジ・記録員・点示は、競技委員会で決定し、通知する。
- (3) 負けたチームは、次の試合のラインジャッジ・記録員・点示を行う。

2 試合会場のコートについて

試合会場のコートは、原則としてステージ側より、若い番号とする。(例：A・B・C……, 1・2・3……)

3 試合間について

試合と試合の間は原則として、10分間とする。2連続試合の場合は、15分間、3試合連続の場合は、20分間とする。

4 大会使用球について

令和7年度は、男子がミカサ、女子がモルテンを使用する。ただし、中学校については、中学総体以降は、男子がミカサ、女子がモルテンを使用する。

5 中学校・高等学校の合同（合併）チームの編成・参加規定について

(1) 条件

- ア 各々の学校に、部として存在していること。
- イ 各々の学校長が、合同部活動を承認し、合同チームとして計画的・継続的に活動が行われていること。
- ウ 合同チームについては、最低出場人数（6人）に満たない場合のみ、編成できる。
- エ チーム登録は、学校それぞれが登録しなければならない。
- オ 大会参加時の引率は、いずれかの学校の教員とし、監督もいずれかの学校の教職員とする。

(2) 編成基準

- <中学校>…以下の中体連・県協会規定に準じる。
- ア 地区内で編成するものとし、合同が適正であると県協会が認めた場合に限る。
 - イ 最低出場人数（6人）に満たない学校で、単独でチーム編成が困難な学校同士の合同チーム。
 - ウ 最低出場人数に満たない学校が、部員数に余裕のある学校から部員を借りて編成する合同チーム。
 - エ 単独でチームの編成が可能な学校に、最低出場人数に満たない学校の部員を吸収した合同チーム
- <高等学校>…以下の高体連・県協会規定に準じる。
- ア 最低出場人数（6人）に満たない学校で、単独でチーム編成が困難な学校同士の合同チーム。
 - イ 当面、統廃合の対象校のみとする。

(3) 申込み

合同チームで申込み、参加料は1チーム分とする。

II 抽選についての申し合わせ事項

1 抽選について

- (1) 抽選委員会は、理事長、総務委員・審判委員の各担当者および、競技委員会で構成する。
- (2) 抽選は、要項に記載された期日の午後6時から、鹿児島高校会議室で抽選委員会が行うことを原則とする。チーム代表者の立ち会いを認める。(立会いすることを連絡の上、出席する)

2 シード法について

- (1) 各大会のシードは、2～8チームを原則とする。その数及び順位は、県協会の抽選委員会で決定する。
- (2) トーナメントにおけるシードチームの位置は、日本協会の方式に従って決定する。
- (3) シードチームの順位決定にあたっては、下記の項を考慮して決定する。
 - ア 中学校・高校の県内大会のシード順位は、その大会直前の大会成績による。
 - ※ 社会人の大会は、前年度の同大会の成績により、8チームを原則とする。
 - イ シード順位が同じ場合は、直前大会での対戦相手を考慮に入れる。
 - ウ ベスト4のチームがベスト8以下に位置した場合は、シードの対象外とする。
 - エ 何らかの理由で欠位（不足）した場合は、順次繰り上げ、その欠位を補填する。なお、末位が空位の場合は補填しない。また、棄権もしくは不参加のシードチームについては、次の大会ではシードの対象外とする。
 - オ 種別が複合する場合（総合選手権、天皇杯・皇后杯等）は、抽選委員会で決定する。
- (4) 新人戦のシード順位決定は、下記大会のそれぞれの順位を点数換算して決定する。
 - ア 参考にする大会
 - <高校> … 高校新人、全九州総合県予選、高校総体、全日本高校選手権県予選
 - <中学校> … 中学新人、県下中学大会、中学総体
 - イ 点数換算
 - 1位 … 8点、 2位 … 6点、 3位 … 5点、 4位 … 4点、
 - 5～8位 … 1点 （トーナメントの場合、3位と4位は、4.5点とする）

3 抽選方法について

- (1) 抽選順位は、申込書の受付順を原則とする。抽選は、抽選委員会がチーム代表に代わって行う。
- (2) トーナメントの場合、同一地区から2チーム以上参加しているときは、それらのチームを次のようなゾーンに分ける。
 - ア 2チームのときは、2分の1ゾーン
 - イ 3、4チームのときは、4分の1ゾーン
 - ウ 5～8チームのときは、8分の1ゾーン
 - エ 9チーム以上のときは、16分の1ゾーン
- (3) 1～2回戦では、同一地区同士の組合せはしないことを原則とする。ただし、参加チームの少ない場合は、適用できないことがある。

地区は、中学大会は中体連、高校大会は高体連の地区割りを基本に、社会人については9～12地区を基本に今後検討する。
- (4) 同一チーム同士が前大会と連続して1回戦に組み合わせないことを原則とする。ただし、参加チームが少ない場合は、適用できないことがある。
- (5) 中学校・高校大会で代表2チームを選出するときは、上位4チームによるリーグ戦を行う。（全九州総合選手権は除く）3チーム以上のときは、競技委員会で試合方法を選定することを原則とする。なお、参加チームが少ない場合などは、別に考慮する。
- (6) 高校大会の抽選については、以下のとおりとする。
 - ア 抽選順位は、申込書の受付順を原則とする。電子媒体での受付の場合も同様とする。
 - イ トーナメントの場合は、同一地区の参加チーム数に関係なく、それらのチームを4分の1ゾーンに振り分ける（トーナメント表の左上側をAゾーン、左下側をBゾーン、右上側をCゾーン、右下側をDゾーンとする）。地区は高体連の地区割りを基本とする。
 - ウ 4分の1ゾーンの振り分け抽選は、鹿児島地区、南薩地区、日置地区、北薩地区、始良地区、大隅地区、熊毛地区、大島地区の順で予備抽選を行い、抽選結果の順番でゾーン決定の抽選を行う。
 - エ 4分の1ゾーンに振り分けた後は、申し込みの早い順番でAゾーンから順に抽選を行う。その際に同一地区の組み合わせは考慮しない。